

校 訓	標 語
自重献身	自発能動

本校の教育目標

教育基本法並びに学校教育法に則り、人格の完成をめざし、社会に対する健全な批判力を養い、自主自立の精神に充ちた心身ともに健康な国家及び社会の有為な形成者を育成する。

生徒の実態，教師の願い

ほとんどの生徒が大学への進学を志望し、将来に向けて、自己の可能性を追求している。高校における勉学や活動を通して知識・技能を習得し、豊かな人間性を磨きながら、自ら進んで社会に貢献しようとする意欲を高めてほしい。

保護者や地域の願い

保護者・地域の本校への関心や期待は高く、教育活動に対して理解を示している。大きな環境の変化にあっても、課題解決に向け社会に積極的に参画できるような、次代を担う人材を育成することが求められている。

「志教育」の目標

「自重献身」の校訓の下に、自ら為すべきことから知り、自らを厳しく律しながら、他人を尊重し社会に貢献する生徒を育成する。

重点指導事項

人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
<p>1学年 学校生活の様々な場面において、良好な人間関係を構築するための高いコミュニケーション能力を育てる</p> <p>2学年 中堅学年の役割の自覚を促し、部活動・学校行事において、他人との共生を意識した積極的な参画意欲を喚起する。</p> <p>3学年 最上級生としての役割を自覚し、周囲と積極的に関わりながら切磋琢磨することで自己を成長させる態度を養う。</p>	<p>1学年 基礎学力の定着をベースに、高いレベルでの自己実現に向けて、何事にも自発的に取り組む態度を育てる。</p> <p>2学年 物事を広い視点で考察する力を育て、社会に対する健全な批判精神と人間としての正しい生き方を求める姿勢を涵養し、主体的に進路目標を設定できる生徒を育成する。</p> <p>3学年 大学進学に必要な学力の定着と向上を図り、将来の進路目標達成に向けて、全力で取り組む姿勢を育てる。</p>	<p>1学年 部活動・学校行事を通して、リーダーの在り方について考え、主体的に責任を果たす態度を育成する。</p> <p>2学年 主体的に活動する経験を通し、社会での自己の役割についての自覚を促し、リーダーとしての実践力を育成する。</p> <p>3学年 学校生活全般で「自発能動」の精神と健全な批判精神を持ち、より一層の内面的成長を図りながら自己の社会的責任と役割を自覚するリーダーを育成する。</p>

各教育活動における取組の観点

各教科	教科を学ぶ意義の明確化、学習指導の改善を通して、自発的な学習態度の育成及び学習意欲の喚起を図る。
道徳	「自重献身」の校訓の下に、自ら為すべきことから知り、自らを厳しく律しながら、他人を尊重し社会に貢献する生徒を育成する。
総合的な探究の時間	自己実現のための様々な活動を通して、物事に主体的・創造的に取り組む態度を育成するとともに、正しい判断力を身に付け社会のリーダーとなるための力を育成する。
特別活動	発起人制度による各種活動や生徒会活動および各種委員会活動を支援し、生徒による建設的な自主的活動を行う力を育成する。
その他	心身ともに健全で多様な感性を育むために、学校生活における学習・委員会活動及び部活動のバランスを主体的にデザインする態度を身に付けさせる。

各学年の取組内容

1年	<p>①合同巡検（7月） 集団行動を体験させることにより、集団生活のルールや公衆道徳、及び対人関係の在り方などを学ばせるとともに、宿泊体験などを通して、生徒と教師のコミュニケーションを深める。</p> <p>②OB・OG講演会（9月） 難関大学・難関学部で学ぶことの意義を理解し、自らの在り方や生き方について考える。</p> <p>③難関大学・学部学科研究（10～12月） 東北大学教授の講演を通じて、研究分野の社会的意義を理解し、主体的な進路選択を促す。</p> <p>④社会人講話等（1月） 働くことの意義を理解し、自らの在り方や生き方について考える。</p> <p>⑤学術研究Ⅰ（通年） 問題に対して自ら計画を立て、見直しを持って実行し、問題を解決していく力を養う。</p>
2年	<p>①校外研修（7月） 東京の研究機関や企業・官公庁を訪問し、最先端の科学技術、実際の政治・経済、貴重な歴史・文化遺産に触れ、視野を広げる。</p> <p>②OB・OG講演会（9月） 現役大学生の講演を聞いて、自己の学びの目標をより高く掲げる意識を養う。</p> <p>③難関大学・学部学科研究（10～12月） 東北大学教授の講演を通じて、研究分野の社会的意義を理解し、主体的な進路選択を促す。</p> <p>④主権者教育（3月） 高校生が選挙権を持つ意義および選挙活動と具体的な選挙違反について理解を深めることによって、主権者としての意識を高め、社会に有為な市民として必要な資質を養う。</p> <p>⑤学術研究Ⅱ（通年） 課題研究に取り組むことにより、研究方法を学ぶとともに、問題に対して自ら計画を立て、見直しを持って計画を進め、問題を解決していく力を養う。</p>
3年	<p>①難関大学・入試研究（7・11月） 予備校関係者の講演等を通じて、進路目標の具体化を図る。</p> <p>②卒業記念講演（3月） 社会のリーダーとして活躍するOBの講演を聴き各自が志を確認することにより、3年間の志教育のまとめとする。</p> <p>③学術研究Ⅲ（通年）（選択） 多角的、複合的に事象を捉え、自然や社会などに関する課題を設定して探究し、課題を解決する力を養うとともに創造的な力を高める。</p>

家庭との連携

家庭との連絡を密に行うとともに、父母教師会と連携・協力して、生徒の適切な進路選択を促す活動を展開する。

地域・企業との協働

大学・企業・関係機関などの地域社会や同窓会と連携・協力して、次代を担うリーダーを養成する活動を展開する。